

おもいでアルバム

音の強弱に関する記号 (*mp* *mf* *f* < >) に注意して演奏しましょう。
 ペダルは一小節2回ずつ(特に一小節内で和音が変わる17~18小節目は必ず2回ずつ) 踏むのが理想的ですが、音が濁るようならば踏まなくても構いません。

増子とし 作詩
 本多鉄磨 作曲

Andante

1オクターヴ(ソ〜ソ)の幅になるように指を広げる

レガートを意識する

増子とし 作詩
 本多鉄磨 作曲

ブレスを たっぶりとる

mf うたが入るとテンポが狂いやすいので注意

レガート

親指を中指の下にくぐらせ、音をつなげる

音の読み間違いに注意

強くならない、短かすぎない

mf フレーズごとにレガート

1つずつ切らない

左手の音量を抑える

めだたせない

○「あつたでしょう」
 ×「あーあたーでしょー」

フレーズの切れ目

軽く切りすぎない

音の間違いに注意

音の間違いに注意

ここでブレスせず、声の響きが次の「いつに…」につながるように

mp ×「かーた」

mf だんだん強く

歌がはっきり聴こえるように伴奏は弱めに

和音をレガートで弾けるように

音の間違いに注意

一番大きく f ○「なっても」
 ×「なあーてもー」 mp プレスしない

い つ に な っ て も わ す れ な い -
 き れ い な は な も さ - い て い た -

レ ファ#

音をはずさないように注意

2

親指を同じ位置でキープして
 とり出して練習